

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	九州ろうきん本店ビル新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡市中央区大手門3丁目47番1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	360 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2020年12月24日
敷地面積	2,788 m ²	作成者	伊勢原
建築面積	1,649 m ²	確認日	2020年12月24日
延床面積	10,754 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 68% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 4

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 2

LR2 資源・マテリアル: 1

LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 ・大濠公園・舞鶴公園といった福岡市内において有数の規模を誇る緑量を持った緑地空間の近傍であり、福岡市においては「みどりの街並み軸」に位置づけられている昭和通りに面して建つ、金融機関の本店事務所ビル		その他 ・既存建物を減築し、一部の躯体を補修・補強の上活用する事で新規の躯体形成に係る省エネルギーに配慮しているとともに、魅力的なオープンスペースを形成している。
Q1 室内環境 ・シックハウス対応として内装仕上げ材のほぼ全てをF☆☆☆☆で行った。 ・開口部遮音性能 T-2 以上を確保した。	Q2 サービス性能 ・金融機関本店ビルの地震への対応として免震構造を採用。 ・昭和通りに面して開かれたオープンスペースを計画し、緑地空間を創出する事で地域の緑とつながる景観・空間を	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地及びオープンスペースを敷地内に広く設け、昭和通りと連続した魅力的な空間を提供している。
LR1 エネルギー ・空調設備の合理化やセンシングによる制御を行うことで、ZEB Orient ed相当の省エネ化を図る計画とした。	LR2 資源・マテリアル ・敷地内にできるだけ多くの緑地を計画した。	LR3 敷地外環境 ・周辺地域への圧迫感を抑えるよう敷地周辺の建物スケールに配慮した建物配置計画を行い、日照や通風など周辺の環境への影響も考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される